

JACS

日本消費者行動研究学会ニューズレター

NEWSLETTER

第11巻第5号

発行日● 2004年2月6日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第27回コンファレンス概要

統一論題: 消費者行動研究の回顧と展望

去る2003年11月8日、9日の両日、東京都豊島区の学習院大学において、第27回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。今回のコンファレンスは、JACS-SPSS 論文プロポーザル賞・統一論題・自由論題という3部からなる構成で、多数の研究報告が行われました。

〔JACS-SPSS論文プロポーザル賞〕

「時間制約が消費者の価格知覚に及ぼす影響」

鈴木拓也(早稲田大学大学院)

「テキストマイニングにおける情報力向上のアプローチ

ー消費者理解を目的とするテキストマイニング手法の整理と理解促進ー」

堀田武裕(明治学院大学大学院)

「ノスタルジア性向とテレビゲームの選好に関する実証研究」

水越康介(神戸大学大学院)

「信用財における知覚品質の構成要素と「価格-品質関係」について」

劉寧(学習院大学大学院)

「発信する顧客は優良顧客か？」

ーサイトの訪問動機とオンライン・ショップの購買履歴データの分析ー」

山本晶(東京大学大学院)

「ウェブサーベイにおける回答行動: いいかげんな回答」

李相吉((株)インテージ)

長崎貴裕((株)インテージ・インタラクティブ)

〔統一論題〕

「確率的消費者行動モデルの展望と課題」

中西正雄(関西学院大学)

「消費者行動研究の方法論的視座」

阿部周造(横浜国立大学)

「広告と消費者行動—説得か、対話か」

岸志津江(東京経済大学)

「消費者行動の研究と心理学」

杉本徹雄(上智大学)

「消費者行動の新展開とマーケティング戦略課題: ネット・コミュニティの登場」

池尾恭一(慶應義塾大学)

〔自由論題〕

「消費者の予備知識水準が広告の情報処理の深さに及ぼす影響」

諸上茂光(筑波大学)

「データマイニングによるファッションブランドの認知構造分析」

小野田哲弥(慶應義塾大学大学院)

中野友香(慶應義塾大学総合政策学部)

「消費者市場におけるリレーションシップ構築のメカニズム

—コミットメントの多次元性に着目して—

井上淳子(早稲田大学大学院)

「広告の残存効果を考慮したマーケティング・ミックスモデル

(ビール&発泡酒におけるケーススタディ)」

鈴木奈都子(東急エージェンシー)

益田 一(アサツー ディ・ケイ)

「「景気」意識の形成についてのテキストマイニングによる検証」

黒岩祥太((株)現代文化研究所)

「交通広告の視認性が購買意図に及ぼす効果: 車内広告の場合」

須貝育宏(上智大学大学院)

杉本徹雄(上智大学)

梅津充幸(ジェイアール東日本企画)

宮園真理(東急エージェンシー)

菊池正和(帝都高速度交通営団)

この他に、2日目には青木幸弘教授の司会で、中西正雄(関西学院大学)・和田充夫(慶應義塾大学)・岸志津江(東京経済大学)の4氏によるシンポジウムが開催されました。

第28回消費者行動研究コンファレンスのお知らせ！

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内致します。

第1日目に研究報告と懇親会、第2日目に研究報告と統一論題でのシンポジウムを予定しています。

詳細については、次号のニューズレターで再度お知らせ致します。

開催日程決まる！

6月5日(土)・6日(日)

神戸大学

神戸市灘区

六甲台キャンパス

第28回消費者行動研究コンファレンス “自由論題”募集

6月5日、6日に開催されます第28回消費者行動研究コンファレンスでの自由論題の報告者を募集します。報告日は6日に設定される予定ですが、時間等は未定です。報告順などは事務局で調整させていただきます。なお報告時間は30分程度ですが、報告者数によって若干調整させていただきます。

報告者のうち1名が学会員であれば共同発表でも構いません。報告を希望される方は「4月10日(土)から4月30日(金)」までの間に、以下の要領で事務局までお申し出下さい。なお論題が本学会にそぐわない場合には、報告をお断りすることがありますのでご了承下さい。

報告を希望される方は、下記のタイトルにて、以下の5点を事務局まで E メールもしくは郵送でお知らせ下さい。折り返し詳細を確認させていただきます。

〔Eメールのタイトル:「自由論題の報告希望」〕

1. 報告者氏名
2. 報告者の所属機関
3. 報告論題
4. 報告必要機材報告者の連絡先
5. 住所・電話番号・Eメールアドレス

〔応募期間〕 4月10日(土)～ 4月30日(金)

〔送付先〕 日本消費者行動研究学会 事務局 E-mail:jacs@jacs.gr.jp

2003年度 JACS-SPSS論文賞の受賞者

2001年度より創設されました JACS-SPSS 論文賞の 2003 年度の受賞者が、秋のコンファレンスでの中間発表の結果により決定致しました。最優秀賞(1名)は賞金 30 万円、優秀賞(2名)は賞金 10 万円が副賞として SPSS 社より贈呈されました。受賞者の方々は下記の通りです。

【最優秀賞】 「ノスタルジア性向とテレビゲームの選好に関する実証研究」

水越康介(神戸大学大学院)

【優秀賞】 「時間制約が消費者の価格知覚に及ぼす影響」

鈴木拓也(早稲田大学大学院)

「発信する顧客は優良顧客か？」

ーサイトの訪問動機とオンライン・ショップの購買履歴データの分析ー」

山本 晶(東京大学大学院)

当論文賞は、学会で報告することにより多くの方から様々な意見をいただき、自分の研究を客観的な視点から捉え直すことのできる貴重な機会として位置づけられています。来年度も、消費者行動研究に“夢と希望”をもつ多くの若手研究者の方からの多数の応募をお待ちしています。

2004年度 JACS-SPSS論文プロポーザル賞の募集

日本消費者行動研究学会では、SPSS 社のご協力を受けて、若手研究者の研究支援のために、JACS-SPSS 論文プロポーザル賞を設けています。研究歴(大学院修士入学から)10年程度の若手会員の方から未発表論文の応募を致します。共同研究の場合には主な研究者がこの条件に当てはまっていることが必要です。

受賞賞金の総額は50万円(最優秀賞1点30万円、優秀賞2点10万円)となっています。

2004年春のコンファレンスにおける審査委員会での審議により選出され、選出された論文は、2004年秋のコンファレンス初日に最終研究結果を報告し、役員会で最優秀賞1点、優秀賞2点が選出されます。

JACS-SPSS 論文賞へ応募を希望される方は、次の要領にしたがって、Eメールにてお申込み下さい。多くの若手会員の方から、応募をお待ちしています。

宛先 : jacs@jacs.gr.jp
応募要領: Eメールのタイトル「JACS-SPSS 論文プロポーザル賞応募希望」
タイトル、氏名、所属
概要(400字以内)
①研究の目的 ②研究の方法
締め切り: 2004年5月31日(月)

デンマークセミナーのお知らせ

南 知恵子 (神戸大学)

西デンマーク大の Dominique Bouchet 教授コーディネートにより、以下の2つの Ph.D. セミナーが開催されます。ご関心のある方は、場所プログラム等の詳細情報を送りますので、南もしくは事務局までお問い合わせください。

1. Consumption Theory: Canon of Classics May 30-June 4, 2004、セミナー・コーディネーターは、A.Fuat Firat, Visiting Professor of Marketing, Department of Marketing, U.of Southern Denmark、各セッションは Soren Askegaard, Douglas Holt, Craig Thompson らにより、担当されます。申し込み締め切り日は2月15日です。

2. Semiotic, Textual and Visual Analysis: Advanced Qualitative Methods, June 6-11, 2004, セミナー・コーディネーターは、Dominique Bouchet, Professor & Director of Doctoral Program in Social Sciences, U. of Southern Denmark, 各セッションは、A.Fuat Firat, Russell W. Belk, Gulliz Ger らにより担当されます。申し込み締め切り日は2月20日です。

神戸大学大学院経営学研究科 南 知恵子
e-mail cminami@kobe-u.ac.jp

フォーラム

「研究者のためのパソコン選び第10回:PCのここ1年の動向」

2004年に入って、PCを取り巻く環境もいよいよ成熟の度合いが高まってきている。既に気づかれているかもしれないが、CPUの発熱量の限界から昨年一年間でインテルのCPUの速度はほとんど上がらなかった。この一年を通して4GHzに届くことはないだろう。ノート用のCPUも電池の限界からこれ以上モバイル性を損なわないようにするには、速度上の限界を迎えつつある。後に続く64ビットOSなどは個人ユーザーに関わってくる部分は当面は限られている。

最も個人の使い方に影響を与えそうなマイクロソフト・メディアセンターは、研究者個人と言うよりも家庭でのPCの使い方に大きな可能性を開くもので、ここでの話しの背景になる。今年はある種の準備の年と言うことになるが、来年以降に向けての前哨戦の中でどんなPCが買い頃なのかを考えてみよう。

まず、周辺機器では記録型DVDを付けることは、メインで使うPCに関しては必須だろう。メモリも1G以上は積むようにしておきたい。CPUは予算が許す限り早いものにしておこう。それは、Windows XP に今年中に提供される Media Connect という機能を使うとこれに対応したビデオやテレビなどを繋ぐことが可能になってくるからだ。異なるメーカー同士の機器を自由に繋ぐことができるという意味では、SONYのホームリンクなどとよく似た機能を大々的にマイクロソフトが提供することを宣言したものといえるだろう。

これは、家中で録り溜めたテレビ番組を自由に見ることができる可能性が出てきたことを意味している。PCがホーム・メディア・サーバーになるということだ。正確には著作権の問題があって、映画の配信などはできないが、これも著作権保護の仕組みができれば可能になる。以上の部分には必ず対応できるだけの能力を持ったPCを用意することが必要だろう。おそらく夏以降にホーム・メディア・サーバー専用のマシンが登場する可能性もある。テレビのアンテナ端子がPCの近くにならなければ、小型のXP搭載のマシンをリモートで使うという方式になるかもしれない。

その時期まで見極めるつもりならもう少し待つことも意味があるだろう。HDD搭載のDVDレコーダーとの競争はそこで決着がつくかもしれない。拡張性のないDVDレコーダーよりもHDDの拡張、将来の地上波デジタル放送への対応などを考えても、PCの方が柔軟であるのは明らかだ。だから、家電メーカーももっと低価格で拡張性の高い機器を導入する。どちらを購入するかは、この競争の中で見極めることになるだろう。

もう一方のノートPCに関してはどうだろうか。A4サイズのデスクトップ代替機とB5サイズのモバイル機に集約して各社とも開発を行っている。既に現在のマシンのスペックで、インターネット接続、原稿執筆から統計計算、簡単なDVD編集までこなす力がある。ノートPCに関しては、すでにCPUの能力を劇的に上げることは限界になっており、モバイル性を重視した機器が発売されてくる。その場合には重量が決定的な要素となる。B5サイズなら重量は1Kg が目安となるところまで軽くなってきている。価格との見合いだが、モバイル機に関しては重量を重視したものにしていただいた方が、結局利用頻度が高まるだろう。

以上のようにこの1年の変化は目立ったものは少ない。しかし、次のステップに向けて利便性を重視したマシンが出てくるので、案外長く使えるだろう。

● 新入会員の募集について ●

本学会への入会を希望される方は、本ページ下部の該当項目に☑をし、FAX ないしは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上、e-mail にてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

●入会資格

- [学術会員] 消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教暦を有する者、等)。但し、学術会員2名の推薦が必要。
- [賛助会員] 本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

- [学術会員] 5,000 円(但し、大学院生の場合は、2,000 円に減免)
- [賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円 法人会員 1 口 50,000 円

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。
次回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会: 参加 不参加)

お名前: _____ ご所属: _____

ご住所: _____

TEL: _____ FAX: _____

E-mail: _____

● JACS事務局のご案内 ●

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155
関西学院大学商学部 マーケティング研究室(山本昭二)
TEL: 0798-54-6375 FAX: 0798-51-0903 Email: sjyama@cvn.bai.ne.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39
恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

*ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、またお問合せ等は上記までお願い申し上げます。

